

偵探名 ピーゲうましまし

訳 男 渡 茂 作 作 デュボア



933 William Pène du Bois
名探偵しまうまゲピー
デュボア著 渡辺茂男訳
学習研究社 昭和45
137p 22cm 世界の傑作童話・1
原題：THE GREAT GEPPY

世界の傑作童話・1

名探偵しまうまゲピー

訳 者・渡辺茂男

発行人・古岡秀人

編集人・石井和夫

印刷所・株式会社精興社

製本所・有限会社黒田製本所

発行所・株式会社学習研究社

東京都大田区上池台4-40-5

振替東京142930

定 価・550円 8397-539 351-1002

©昭和45年8月10日 第1刷発行

■この本についてのお問合せ、製本上のミスなどがありましたら、下記宛にお知らせ下さい。

学研「営業総務部サービス課」児童図書係 東京都大田区仲池上1の17の15 Tel.03-754-1111

めいたんてい
名探偵しまうまゲピー

○編集委員

大塚 勇三

渡辺 茂男

内田莉莎子

THE GREAT GEPPY

© 1940 by William Pène Du Bois
Original English edition Published
by The Viking Press, Inc.

Japanese translation right arranged
through Charles E. Tuttle Co., Inc, Tokyo



名探偵しまうまゲピー

ウィリアム=ペン=デュボア作・画

渡辺茂男 訳

✠
も
く
じ

探偵事務所へきた一つうの手紙たんでいじむしょ 7

しまうま探偵ゲピーたんでい 16

ゲピー探偵、サーカスへのりこむたんでい 23

おばけやしきのおそろしい体験たいけん 37

つなわたりの名人ホリ・タロウめいじん 56



ライオンのおりの中へ
—— 76

ゲピー探偵の危機
—— 94

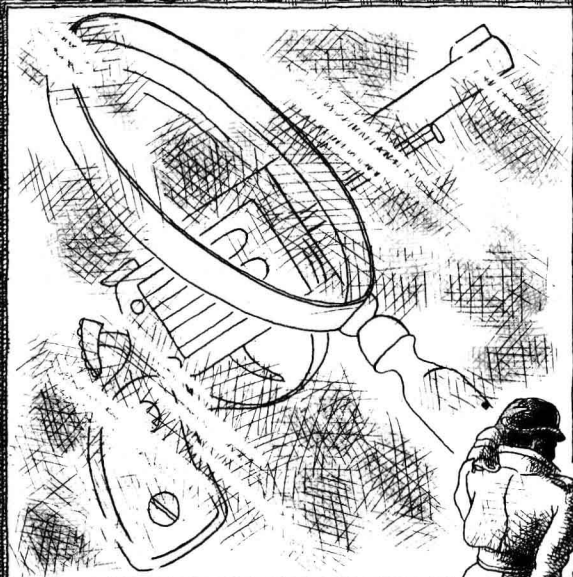
事件は解決
! —— 103

むすび
—— 133

訳者あとがき
—— 136

ARMSTRONG & TRILBY

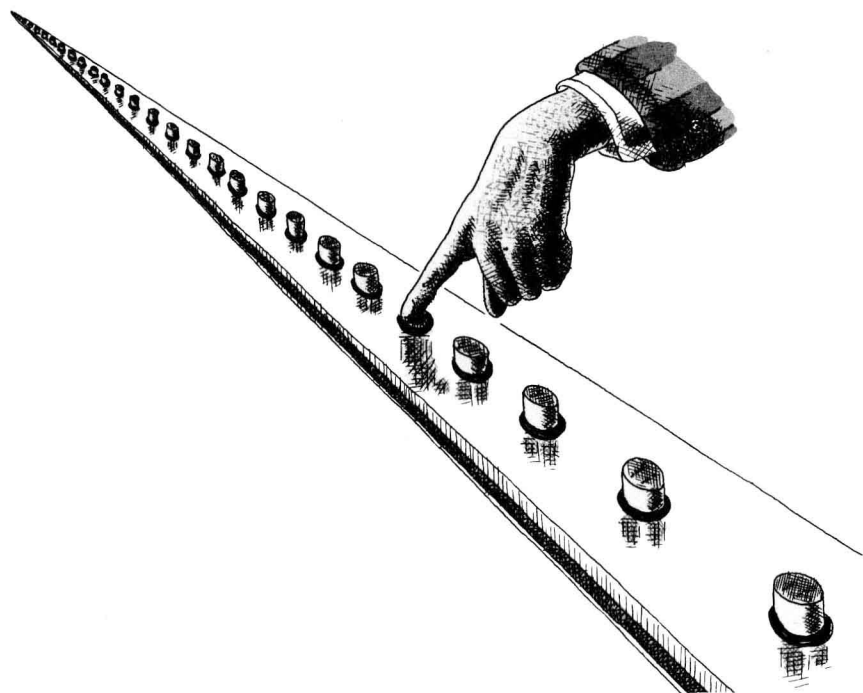
A Suitable Sleuth for All Solvable Crimes



ESTABLISHED
1802

76





探偵事務所へきた一つの手紙

一九三八年十月二十日、木曜日、さわやかにはれた朝、アームストロング・トリルビー探偵事務所のポール・アームストロング氏は、アッフル通り七十六番地の事務所にはいり、つくえにすわって、手紙をよみはじめました。

といつても、アームストロング氏は、毎朝、かならずこのとおりにしていたのですから、とくべつかわったことを、はじめたわけではありませんでした。

ひかえ帳の上に、三つうの手紙がのっていました。まず、一つうめの手紙に、さっと目をとおしました。

その手紙は、ある音楽家からのもので、バイオリンがぬすまれたということがかいてありました。この音楽家は、おなじ交響楽団のなかまのひとり、ひじょうにめずらしい、高価な、かれのバイオリンをぬすんだらしたかなしょうこがあるから、探偵のひとりに、団員になりすまし、ほかの団員たちにあやしまれずに、犯人をさがしてもらいたい、というのです。

ポールⅡアームストロング氏は、共同経営者のトリルビー氏にむかっていいました。「音楽探偵をよんでくれ。」

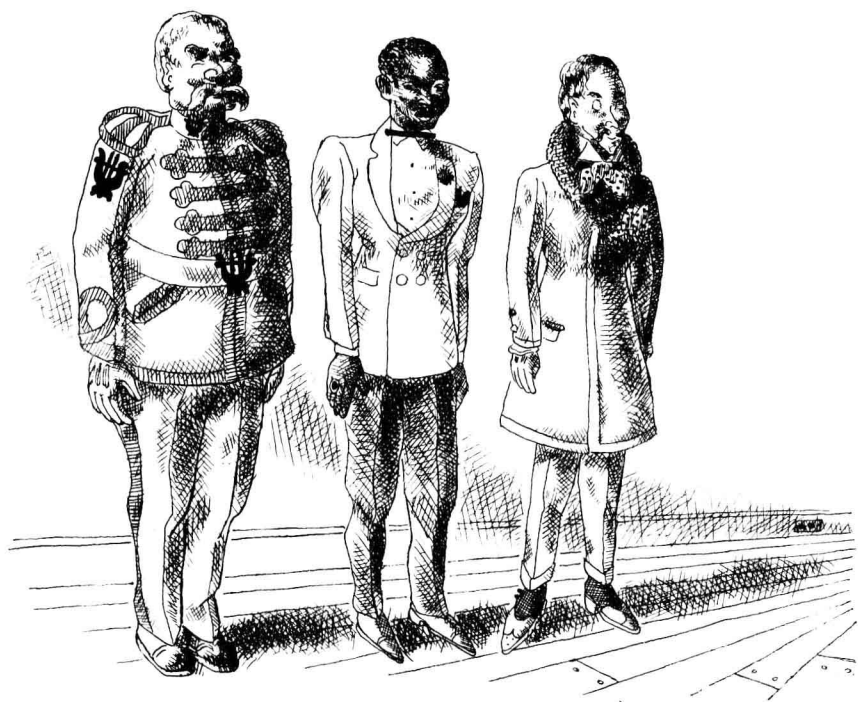
トリルビー氏は、『音楽家』とかいてあるボタンをおしました。すると、たちまち、三人の男があらわれて、アームストロング氏のまえにならびました。

アームストロング氏は、三人をちらつと見て、この事件にいちばんふさわしいとおもわれるひとりに、手紙をわたして、かんたんに命令しました。

「いつものとおりにやれ……三日
いないにもどること。」

三人の探偵たちは、へやをでて
いきました。ふたりは、はいつて
きたときとおなじドアから、ひと
りは、べつのドアからでていきま
した。そのドアは、青色のドアで
した。

そこで、アームストロング氏は、
二つうめの手紙をよみました。そ
の手紙は、日本からのものでした。
しんじゅとりがひとり、海のそこ
から、大きなしんじゅをとってき



て、そのまま、ゆくえふめいになったというのです。

「この事件には、」と、手紙にかいてありました。「日本語をはなせ、海にもぐって、しんじゅとりのできる、わかい婦人探偵がひつようです。」また、手紙には、つづけてこうかいてありました。「ぬすまれたしんじゅは、十二万ドルのねうちがあります。」

ポールⅡアームストロング氏は、共同経営者のトリルビー氏にむかつて、いいました。「外国語と水泳のできる探偵をよんでくれ。」

トリルビー氏は、『外国語』とかいてあるボタンと、『水泳』とかいてあるボタンをおしました。たちまち、四人の男と、ふたりの女の探偵があらわれました。アームストロング氏は、ふたりの婦人探偵のうち、わかいほうに、日本語をはなすことができるかどうか、ききました。その婦人探偵は、はなすことができます、とこたえました。そこで、アームストロング氏は、手紙をわたして、かんたんに命令しました。

「いつものとおりにやれ……三週間いないにもどること。」

六人の探偵たちは、へやをでていきました。五人は、はいつてきたときとおなじドア

から、ひとりだけ、青色のドアからでていきました。

そこで、アームストロング氏は、三つうめの手紙をよみました。手紙をおわりまでよんで、ひと息つき、めがねをふいて、もう一どよみました。二どめによみおわると、ハンカチをだして、ひたいのあせをふきました。それは、なんともきみような手紙で、つぎのようにかいてありました。

アップル通り七十六番地

アームストロング・トリルビー

探偵事務所あて

一九三八年十月十八日 火曜日
ボット・スリー・リング・サーカスより

アームストロングどの

わたしのサーカスにおきまして、毎晩、夜の部がおわったあとで、金庫から、一日の収入のほぼ半分がぬすまれるのです。町から町へ移動してサーカスをやっておりますが、どの町へうつっても、ぬすまれるという事実からして、さんねんながら、このサー

カスの大家族のだれかが、金庫からぬすみをはたらいているということになるのであります。わたしたちは、なが年いっしょにはたらいてきておりますので、警察をよんで、このかなしいできごとをしらべてもらう気はいたしません。また、おなじ理由で、わたしは、じぶんで、助手や、いろいろな芸人たちをしらべたくありません。わたしは、サーカスのなかまを、みんなすきですし、彼らのきもちをきずつけたくありません。

このサーカスの会計係をしておりますわたしのおとうとのジミー・ボットが、あなたの事務所が、『あらゆる事件の調査解決』をスローガンにしていращしやるといいましたので、いま、この手紙をかいてほしいです。つなわたりができ、ライオンの調教ができ、大砲からうちだされる人間弾丸になることができ、それから、おぼけの見せものになることのできる探偵を、ひとりおねがいます。

この探偵に、つなわたりや、ライオンの調教を、じゅんぐりにやっていただくあいだに、サーカスの芸人にひとりずつあたり、しかも、その人たちに、しらべられていると気づかれずに、しらべてほしいのです。空中ブランコの曲芸師は、しらべるひつようは



ありません。わたしの家内と、むすめと、ふたりのむすこたちですから。それから、曲芸主任も、そのひつようはありません。わたしのむすめのむこです。わたしたちは、おなじテントの中で、いっしょにくらしておりますから、いつでも、わたしの目がとどいています。

わたしは、このとうなん事件を、とてもざんねんにおもいます。ともうしますのも、ことは、お客が大入りで、これまでになく、収入がおおいはずなのです。

できますことなら、探偵に、すぐきてもらいたくぞんじます。ちようどいま、ばけもの小屋に、ひとつ、はたらき口があるのです。

おとうとのジミーⅡボットも、よろしくおつたえくださいとのことです。あなたのすぐれた探偵事務所のことを知り、かんしゃにたえません。

よろしくおねがいいたします。

ミツキーⅡボット

追伸、探偵のかたが、道化のくんれんもうけていられば、さいわいです。

ポールⅡアームストロング氏は、手紙を四だめによんでから、おどろいたまま、ついうつかりして、かん高い声で、まわりにきこえるようにつぶやいてしまいました。

「おぼけの見せものに、つなわたり、ライオンの調教師、人間弾丸、それに、うまい道化師……それを、ひとりの探偵でだ。」

そこでアームストロング氏は、コップに二はい水をのんで、共同経営者のトリルビー氏に、うなり声でいきました。

「第三会議室に、かるわざのできる探偵たちを、あつめてくれ。」

トリルビー氏は、『かるわざ』とかいたボタンを、三どおしました。アームストロング氏は、へやをでて、第三会議室へむかって、ろうかがあるいていきました。

